



# 竹木場小だより

令和5年度2月号

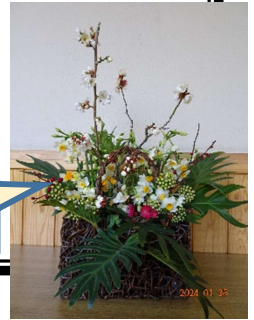
文責：校長 田中

《学校教育目標》 「夢を語って夢を追う児童生徒の育成」

キーワード：「継続」「挑戦」「進化」

《学校スローガン》 「志、立てて、学んで、夢発見！」

春の生け花



## 「食品ロス」をなくそう



1月に発生した石川県能登半島地震によって、今も元通りの生活に戻るのが難しく、大変辛い生活を強いられている方も多くいらっしゃいます。心よりお見舞い申し上げます。

日々ニュースで避難所の生活、支援物資、衛生環境、色々な情報を目に耳にするたびに、「衣・食・住」が揃って生活できる有り難さを痛感します。

さて、「食品ロス」という言葉があります。これはまだ食べることができる食品なのに、人のお腹に入らずに捨てられてしまうことを表す言葉です。皆さんのお家一軒一軒では、せっかく作った料理を「半分だけ食べて残りを捨てる」なんてことはしないと思います。例えば、カレーを作ると残ったものは冷凍したり、次の朝に食べたりするでしょう。

でも、なぜ「食品ロス」が起きるのでしょうか。これは会社や工場、お店などで起きる場合と、私たちの家で起きる場合があるそうです。

会社や工場、お店などの場合は賞味期限が近くなって売れ残りそうになったり、お客さんが食べ残したり、肉や魚、野菜やおかずなど何日もお店においておけなかったりするものが、ゴミとして捨てられるのです。また、私たちの家の場合は、料理をする時に無駄を出したり、ずっと前に買ったものが食べられなくなったり、多く作り過ぎて結局食べきれなかったりということがあります。

このような「食品ロス」はもったいないというだけでなく、ゴミ処分として多くのエネルギーを使ったり、環境に悪い影響を与えたりします。また、日本は食料の多くを外国から輸入しているのにそれを捨てるのは大変な無駄です。そして、日本国内にも十分な食事がとれずに困っている家庭もあるのです。

ですから、「食品ロス」を減らすために自分達ができることを考えていきましょう。私は、肉や野菜は賞味期限の切れそうなものから買って、できるだけ早く調理するようにしています。

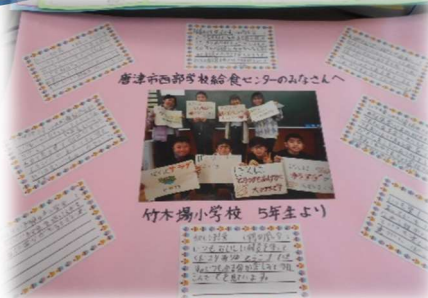
学校の場合は、**給食の残量をゼロ**にすることです。

各学級で先生や友達と、配膳やお代わりの方法を工夫して、残量ゼロを目指していきましょう。全ての学級が残量ゼロになれば、給食センターの栄養士さんや、調理員さんが笑顔になります。学校のゴミがゼロに近くなります。そうなれば、唐津市のゴミ処理場の負担が少しでも減ります。

私たちの大事な食料を大切に、美味しく最後まで食べきりましょう。



児童たちが、毎日給食を作り、配送してくださる西部給食センターの職員さんたちに、感謝のお手紙を書きました！！



# 応援ありがとう！ なわとび発表会 1/26(金)

縦割りりで様々な学年の児童が入り交じって、1回でも多く縄を跳ぶという目標に向かって、気持ちを一つに頑張る姿は、本当に感動を覚えます。この日まで、外で、体育館で、冷たい手に息を吹きかけながら練習していました。

本番当日。けっこう多くの保護者様の参観と応援をいただき、一層張り切った様子でした。体力以上に心も強くなった「竹ん子」たちです。

ひといづつジャンプ



みんなでジャンプ



ひといでジャンプ



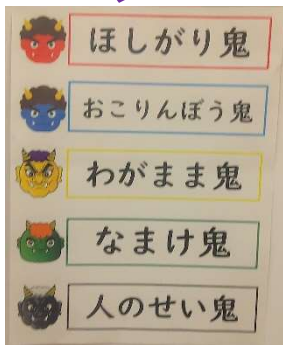
## 2月全校朝会より

節分について、小山教頭先生が色々な鬼を紹介してくれました。

みんなの中にある鬼はどれ？退治できたかな！？

## 2月児童朝会より

アピール集会ということで、2年生2名がピアノ演奏。3年生が合奏を交えた歌を披露してくれました♪



## 入賞おめでとう！

【新年書き方会 地区審査】

毛筆入選 (3年) 1名  
(4年) 1名  
硬筆入選 (4年) 1名



大谷選手、グローブ使って、楽しく野球しています！！

## 3月行事予定

日	曜	行事
1	金	全校朝会
14	木	6年生修了式
15	金	第77回卒業証書授与式 ※給食なし
18	月	1～5年生学年末懇談会
22	金	修了式・辞任式 ※給食なし

☆『月のこころ』アンケートを毎月末に実施し、児童が楽しい学校生活をおくれるようにしています。3月も実施します。